



広島女学院同窓会

第 38 号

埼玉支部だより

2011年 6月

「東日本大震災」で亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された多くの方々に心からお見舞いを申し上げます。一日も早く笑顔が戻りますように。



横浜市
山手十番館

2007' 4

このあたりでは有名なレストランです

中野美代子（小坂） 大英8
今回は中野さんをお願いしました。

「平和を実現する人は、幸いである。」

マタイによる福音書 5 章 9 節



「母 の こ と」

広島女学院中学高等学校校長 星野晴夫

埼玉支部の皆様、こんにちは。昨年 4 月から中高の校長となりました星野です。この度、紙面を通して皆さんにご挨拶出来ますことを嬉しく思っています。この度は母のことをとのことでしたので、少し書いてみたいと思います。



私が母に勧められて姉とピアノを始めたのは幼稚園の時ですが、レッスンは嫌いで気が重かったものです。しかも幼稚園から帰ると、自主的にはピアノに向かわない私のために母のレッスンが待っていました。ピアノの部屋から「晴夫ちゃん、いらっしやい」と何度も呼ぶ声が段々険しくなってくると、しぶしぶ動き出し「喉が渴いた」「うんちしたい」と言っては時間を稼ぐのです。弾き始めるとすぐに音が違うの、指使いが間違っているのと言われては、私の間違いを探し出すのが母の楽しみなのかと思ったものです。でも、ある日、その母が私の弾くのを聞きながら居眠りしているのを見つけてしまいました。私のあら捜しに、一生懸命目を凝らしているこわい母、とばかり思っていた幼な心にそれは驚くような発見で、何か急に親しみを感じたものです。それからは、居眠りを始めた母が目を目まさない弾き方を編みだし、工夫することが楽しみとなりました。

その母は、学生時代を北海道で過ごし、ミッションスクールの札幌北星女学校（現北星学園）に学び、学生会の活動をしたり、英語劇・シェークスピアの「ヴェニスの商人」に出演した話など聞かせてくれたことを覚えています。母は当時北星の理事・講師をしておられた小野村林蔵という有名な牧師先生に出会い、感化を受けクリスチャンとなりました。小野村牧師は、小説「塩狩峠」「氷点」などで有名な小説家三浦綾子さんに洗礼を授けた方で、札幌の北一条教会の牧師として、軍部台頭下、厳しい迫害を経験された方でした。（広島女学院も経験した

道です。)母は戦争への道を辿る社会に対し、疑問を抱き続けた学生時代のことを時折話していましたが、信仰に立って生きた恩師の姿から感じる所が多かったのではないかと想像します。

おそらく、その学生時代からリードオルガン(足踏み式オルガン)を習い始めた母は、その後の生涯の教会生活の中で礼拝の奏楽奉仕を続けました。日曜が近づくと忙しい家事の合間をぬってオルガンの前で奏楽の練習をしていた姿や、何度も繰り返し練習していた奏楽曲の旋律が頭に残っています。母の死後、楽譜を整理していた時、長く使っていたオルガン曲集の表紙の裏に「キリストの花嫁として」という書き込みを見つけ、どのような気持ちで母がこの奉仕を続けてきたかを知ることができました。



大学進学に際して文学部を目指そうとしていた私に、あなたは音楽が好きなのだから音楽をやるべきだと強く押してくれたことは、今私がある原点であり感謝しています。故田中一郎校長より、パイプオルガンの弾ける音楽の先生をと声をかけて頂き、広島女学院に導かれ、音楽を通して、殊に礼拝でのオルガン奏楽(今は少し離れていますが)を通して生徒・先生たちと、毎朝神様への賛美をもって学校生活を送れることを喜び感謝しております。

私事ばかりの文章となってしまいましたが、お許しください。

卒業生の皆様の上に神様の豊かな祝福がございますようにお祈りいたします。いつでも母校をお訪ねください。お待ちしております。(2月4日 記)



会で星野校長先生と隣席させて頂きました折、「教会オルガニストの母の姿を見て、同じ道を志しました。」とのお話をお聞きし感銘しました。そこで、お忙しい中誠に恐縮でしたが、“お母様のことを”とお願いしました。このように少ないスペースにまとめて頂きまして、本当に有難うございました。

「同窓会関東ブロック主催 広島女学院創立 125 周年を祝う会」

日時 2011年10月29日(土) 12:00 ~

場所 品川プリンスホテル

会費 8,000円

詳しい内容は、別紙にてお知らせ致します。



皆様ご参加下さい。



2010年度会計報告 (2010. 4. 1. ～2011. 3. 31)

◆収入

前年度繰越金	¥37,370
支部会費 (他年度込)	¥246,000
寄付金	¥3,000
商品代	¥2,800

合計 ¥289,170

◆支出

会報発行経費 (2回)	¥154,375	(印刷・封筒代・送料他)
通信・事務費	¥22,850	(印鑑・便箋・USB他)
支部会 (河口湖)	¥6,751	(菓子代)
役員会費	¥37,660	(交通費他)
関東ブロック活動費	¥10,912	(夏雲の集い分担金)
お花料	¥5,000	
合計	¥237,548	

次回繰越金 ¥51,622

当決算報告は、公正、妥当と認めます。
2011年 3月31日

会計監査

奈良原 章子 (監)



2010年度 支部会費納入者



今年度までの5年分 北康子
今年度までの3年分 友安美智子 上田佳子
今年度までの2年分 岩井美子
今年度からの5年分 高橋真弓
今年度からの2年分 東洋子 野崎真奈美 山口智寿慧

芥川初枝	尾島美由紀	小松愛子	田中佳子	西森直美	簗和寛子
朝倉晴江	小高孝子	近藤和恵	谷本公子	野口育代	宮澤真智子
新井恵子	門井瑞枝	西條ミナ	田保京子	秦靖枝	宮本明子
池上敬子	加藤和江	坂内登美子	土田園子	花岡幸枝	村田晴美
石田佳恵	金子悦子	桜井直美	土谷真由美	濱本喜美子	森頼子
伊藤浩子	金舛ますみ	佐藤美智子	堤瞳	平石賀須子	森田英
猪熊志真子	川口和子	澤村紀美	寺田紀代子	平石由紀子	八木澤英美
今井典子	菊谷多恵	清水敬子	戸田由紀子	別所美津枝	山崎美智子
梅宮玲子	木曾豊美	埴愛子	中井貴美恵	堀田裕子	横尾清子
遠藤節	北谷恭子	進藤典子	中下澄江	前悦子	横山玲子
大熊幸子	久保田陽子	末富絢子	中島規子	舛添公子	吉川幸美
大島紗幸	熊谷文子	杉岡法子	中野美代子	町田君子	米田喜世香
大島通音	黒田邦子	杉原真弓	中野良子	町田やよひ	若林マスマ
大塚邦子	河野幸子	武内淑子	永松純子	町原幸代	渡辺道子
大野真澄	河野文子	多田智子	中村真弓	松石律子	
大畠啓子	小林良子	立田明美	奈良原章子	丸笹まゆみ	
大藤裕子	小原誠恵	伊達史江	西光代	三上真美	(計107名、敬称略)

★昨年37号で支部会費納入のお願いを致しまして、多くの方々からの振り込みを頂きありがとうございました。今年度も年会費2000円の納入をよろしくお願いいたします。
＜お名前の後に卒期を入れていただければ幸いです＞

★ゆうちょ銀行の通帳をお持ちの方は、記号10340 番号55810411 広島女学院同窓会埼玉支部へ振り込まれますと振込手数料はかかりません。が、皆様からのお声を通信欄から頂けなくなります。振込用紙の通信欄に書いて頂くことでお友達への元気で済みます。お気軽にひとこと頂ければ、とても嬉しいです。

★白黒表紙にし頁数も増やさぬよう努力しましたが、今年は関東ブロック行事の分担金も予定されていますので、残念ながら今年度は年一回の発行とさせていただきます。

★東日本大震災への義援金を広島女学院同窓会本部に託し、埼玉支部からも2万円させていただきました (4/15)。これは支援が遅れているキリスト教関係の幼稚園・保育園・小さな子供たちと東北地方のキリスト教関係の3大学への支援に使われます。



How are you ?



皆様いかがお過ごしでしょうか、アンケートでお聞きしています。
近況をお聞かせください。

夢、楽しみ、取り組んでいる事、心がけている事などご自由にお書き下さい。

【高31】八木澤 英美 (福田) 栃木県宇都宮市

広島を離れ早20数年。宇都宮での生活も広島とほぼ同じ位になってしまいましたが、埼玉支部の皆様のおかげで女学院の香りを忘れず、日々頑張っております。有難うございます。PTA活動を通じて地域貢献に励んでおりましたが、末っ子が高校入学し、現在は本業の薬剤師の仕事に本腰を入れながら、女学院高校で楽しんだマンドリンを再習中です。学生時代と違い全く上達しませんが、、、。花粉の気配も濃くなってきましたが、まだ真冬並みの寒い日もあり、どうぞ皆様ご自愛下さい。

【高25、文英7】横山 玲子 (丸山) 茨城県牛久市

パートの仕事で忙しく過ごしています。いつか又、趣味のお琴をひいたり宮澤賢治の故郷を訪ねるのが夢です。

【高10、短9】若林 マスミ (寺澤) 寄居町

退職して11年現在71歳です。健康が自慢の私は毎日のようにサークル活動(フラダンス、フォークダンス、手話、絵手紙、書道、生花、カラーリング等)で元気に頑張っています。普段は主人と二人の生活ですが時々週末に子供、孫達がきて賑やかになります。目標はとにかく健康で長生き(100歳以上)する事です。

上記の方々は3月11日の東日本大震災前にお手紙を頂きました。

八木澤様はガラスは割れましたが、怪我はありませんでしたと仰っていました。横山様は電気やガスは大丈夫でしたが、2日間断水で給水車の水を頂きました。皆無事で今は普通の生活を送っていますと仰っていました。

【高10、大英10】渡部 晴美 (玉井) 春日部市

この度の東北関東大地震は私共埼玉県まで広範囲の被害が毎日報道され、つくづく悲しい思いでいっぱいです。健康で普通に食事がとれて生きている事に感謝です。春日部教会と東京民芸協会に参加と奉仕を少々させていただいています。役員の皆様お世話様です。

渡部様からは東日本大震災後、3月22日にお手紙を頂きました。

落ち着かない生活の中のお手紙有難うございました。



☆埼玉支部が担当しています茨城県や宇都宮市の方々と震災後にお話しました。バスが今にも横転しそうな揺れ、通りの両側から瓦が落ちてきて家が崩れてきそうな中を走る運転、散乱した部屋、粉々に割れた食器、ひっきりなしに続いた余震等々、言葉もありません。(今回の規模の津波は地層を見ると、1100年前平安時代にも起きていました。)



通信欄から

支部会費納入の振込用紙通信欄によせられたみなさまの近況報告を抜粋しました。

- ◇ いつも支部だよりなつかしく拝読しています。いつのまにか91才を過ぎ外出もままならず失礼ばかり。皆様のご健勝を祈り申し上げます。

山口智寿慧（大下） 高女44 さいたま市

- ◇ 皆様お元気の事と存じます。当方どうにか後期高齢を迎え病院通いの日常となりました。どうか健康には気を付けてお過ごし下さいませ。

別処美津枝（奥本） 高6 朝霞市

- ◇ 今井様が支部長なさっている間に一度と思いつつ年を重ねてしまいました。ながい間御苦労様でした有難うございました。

大島通音（浅田） 高15 草加市

- ◇ いつも有難うございます。又よろしくお願い申し上げます。

伊藤浩子（日暮） 高11 ふじみ野市、大熊幸子（岡島） 短6 所沢市

上田佳子（和田） 短12 川越市、小林良子（渡辺） 高女53 さいたま市

門井瑞枝（藤村） 高18 大英18 富士見市、永松純子（平岩） 高女47 南埼玉郡

- ◇ 支部便り、いつも楽しみにしております。今後共よろしくお願い致します。

小高孝子（森本） 高23 文日5 川口市、横山玲子（丸山） 高25 文英7 牛久市

野口育代（米澤） 高26 文英8 宇都宮市

- ◇ 今井さま、大変長い間ありがとうございました。清水さま、これから宜しく願いします。「河口湖オルゴールの森」ととてもステキな企画ですが、茨城県からはちょっと無理なので欠席します。 小原誠恵（寺本） 大英13 牛久市

- ◇ 清水様はじめ新役員様よろしくお願いします。 中下澄江（藤本） 高7 志木市

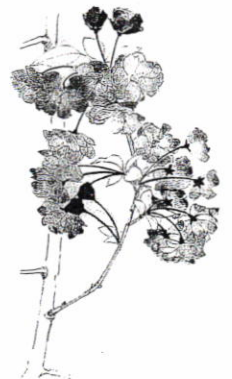
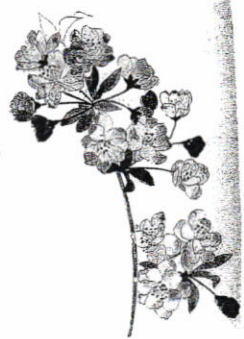
- ◇ 支部長が交代されましたこと、大変とは思いますが、よろしくお願いします。私も60を過ぎましたが、現役でまだ仕事しております。

土谷真由美（土谷） 短19 鳩ヶ谷市

- ◇ 元気にしております。 末富糸匂子（山下） 短大5 新座市

- ◇ 4月に姑が骨折してほとんど岩国にきています。

大藤裕子（下久保） 高10 竜ヶ崎市



新潟支部会報告

2010. 10. 5

渡辺道子（万力） 高6

拝啓 今年の夏の猛暑が嘘の様な 今日今頃ですがお変わりありませんか。私共 一年振りに同窓会を開き四人集まり大いに語り笑い合い楽しい一時を過ごしました。体の不調の方もいましたが、楽しみにしていたと出席して下さり『元気が華よ』と云いあって来年を約束して別れました。皆な年を取って体の不調の時もありましょうが、毎年同窓会を開きたいと思いました。これからもよろしくお願い致します。お元気で。〈地震後、新潟支部の皆様は連絡を取り合い、全員ご無事であったそうです。〉

支部だよりを読んで （敬称略） 一抜粋しましたー

○ 清水さんが支部長になられ、今井さんも長年の肩の荷を下ろし、ほっとなさっていることでしょう。支部の運営も大変でしょうが、あせらずに頑張ってください。

元神奈川支部長 毛利洋子

○ 今回も武内さんのグラバー邸が載っていて、暑い日に訪ねた暑い日のこと、友のことを懐かしく思い出しました。いつも内容の濃い支部会報をいただきありがとうございます。

四国ブロック長 田中チカ子

○ 埼玉支部だよりお送りいただきありがとうございました。立派な支部だよりですね。お礼迄 お元気で！

中部ブロック長 片山和子

○ いつもカラー刷りの美しい表紙が素敵です。会費納入者数は佐伯地区でも年々下降気味です。若いメンバーの参加が期待されるのですが・・・。
もうしばらく、頑張ってみましょう。 佐伯地区長 内山豊子

○ 昨年も女学院の為、おつとめありがとうございます。私も老いを感じながら頑張っています。

大塚邦子（藤田） 高女52 富士見市

関東ブロック主催 2011年 夏雲の集い

～原爆死没者追悼礼拝～



日時 : 2011年7月4日（月） 13:30～

場所 : 日本基督教団 王子教会（東京都北区王子本町1-19-2 Tel・Fax 03-3900-4952）

礼拝・説教 : 王子教会 大久保正禎牧師

内容 : シャンソン「ヒロシマ」梅宮玲子さん（天野）高24

コーラス演奏 アッシジの聖フランシスコによる「平和の祈り」希望者
茶話会

王子教会へは

J R王子駅を下車、北口改札口を出て左に向かうと森下通り商店街です。そこを右折して商店街を進んで行くと交差点があり、角のクスリ屋さんを左折し坂道を上ります。交番・フコク生命ビルその先の茶色の大扇ビルの先隣りです。建物外壁に手すりの付いているバリアフリー仕様の教会です。

(徒歩 10 分)

☆7月4日(月) 12:30~13:15 J R王子駅北口改札口で役員がご案内します。

☆コーラス演奏の練習を6月29日(水) 午前10~12時、王子教会で行います。奮ってご参加くださいませ。ご希望の方には楽譜をお送りしますのでご連絡下さい。(清水 090-5587-2393)

☆茶話会で懐かしい方々との歓談も予定しています。その際、梅宮さんがクミコの「祈り」、「カーロモーツアルト」を今井さんの伴奏で歌ってくださいます。



覚えていますか? . . .

梅宮玲子(天野) 高24

この日本語歌詞で始まる「HIROSHIMA」との出会いは、現在師事している中新井節子先生との出会いに重なります。私は学生時代、中高共に合唱部に所属し、毎日のように歌を歌っていましたが、思えばもう30年も昔のことです。3年前、更年期の五十肩が治ったのを機に「もう一度歌いたい」との思いから、グループレッスンでシャンソンを始めました。その1年後に、お友達の紹介で先生のもとへ伺うことになりました。

インターネット検索では、「まぼろしの歌手」と出るくらい、先生は表舞台から遠ざかってしまいましたが、今でも幻どころか、元気にプロやアマの歌の指導をなさっています。

私の母は祖母、叔母といっしょに広島駅構内で被爆しました。自分が原爆二世だという認識はあるものの、原爆の話は何故か遠ざけてきました。母はお気に入りの日傘を失くした事、自宅の呉へ逃げ帰る道すがら見た光景などをボツリボツリ話すぐらいで、あの当時を思い出したくないといひます。

「水をくれんね!」「熱い、熱い!」の被爆者の人びとの言葉に、たまたま持っていたバケツ入りのきゅうりを水代わりに配ったそうです。そんな母ですが、幸いにもまだ広島で元気に暮らしています。

何か二世としてできる事はないかしら、と考えていたときに、この「HIROSHIMA」と出会ったのでした。この曲は72年にジョルジュ・ムスタキが作詞、作曲。76年に全国23ヶ所コンサートツアーで彼に同行され、日本語歌詞で共演されたのが中新井先生です。「二世のあなたが、決して人間は愚かではないはずだ、というムスタキのメッセージと原爆犠牲者の想いを歌っていきなさい」との言葉と共に、先生は指導して下さいました。先生の義兄様もご自分の家族全員を原爆で亡くされ、その後、一度たりとも広島のを踏むことなく亡くなったようです。

この重い曲を皆さんに聞いていただける機会に恵まれたことを感謝いたします。(3月7日、記)

☆まだまだ余震が続き、原発の事や流言が飛び交い予定を立てにくい日々ですが、今回の「夏雲の集い」は埼玉支部の担当で埼玉支部会も兼ねていますので、皆様のご参加をお待ちしています。

「東日本大震災」で亡くなられた方々のご冥福もお祈りしましょう。